

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
<b>図書館運営に関する項目</b>					
<b>1 図書館施設・機能の充実</b>					
1 公共施設を利用した図書館機能の充実	他の公共施設との連携等により、図書館から一定の距離がある地域へのサービス提供、来館が困難な人へのサービス提供を充実させ、市内在住者の図書館貸出利用登録割合を40%以上にします。	引き続きブックポストの設置可能な場所についての検討を進め、報告にまとめます。 (平成24年まで2か年間の取組)	三鷹駅前付近のブックポスト設置に向けて検討を始めました。	B	
		利用困難者に対する配本サービスの提供について、サービス内容及び対象者の見直し案を作成します。 (平成24年まで2か年間の取組)	他市区のHPからと、近隣市区への聞き取りにより、宅配サービスの現状の把握に努め、報告をまとめました。25年度に実施予定の調査の参考とします。	B	
2 既存施設の整備・改修	すべての利用者が使いやすい安全な施設を提供するため、各館の提供するサービスに応じた施設の整備・改修を進めます。 (数値目標: 書庫の集密化等により、中央図書館の蔵書可能数を平成26年度までに70万冊とする)	施設の老朽化に対応した工事を実施します。  中央図書館 電話交換器及び館内電話設備 改修 OA床改修工事	施設の老朽化に対応し、修繕工事を実施しました。(中央: 目標に掲げた2工事のほか12件、吉祥寺9件)	A	○修繕工事が多々入っているため、今後、老朽化への対応が計画的に進むことが望まれる。
		平成25年度以降の書庫集密化予算の獲得。	中央図書館書庫固定式書棚から電動スライド式書棚への改修工事(平成25年度から27年度の3か年計画)についての平成25年分の予算要求が承認されました。	A	

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価(ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
3 図書館業務システムの再構築	自動貸出・返却機等の導入・活用により業務の効率化を図り、限られた人的資源を読書の案内や課題解決の支援に向けます。(数値目標:貸出・返却において、2分以上待たせないこと)	システムエラーを解消し、自動貸出機、自動返却機、予約棚、返却棚の安定的な運用を図るための定期的(1~2か月に一度)な検証を行います。	予約棚は、読取認識率を約3%向上、誤読率を約3%低減させ、総合的な認識率を約96%にしました。 中央図書館の自動返却機は、検証と調整を続けました。その結果、認識感度については一定の進歩を見せ、機器の不調による利用者のストレスや待ち時間は減少しましたが、読み抜けの増加という新たな問題が生じたため、改善に取り組んでいます。 年度中に発見され、窓口から報告された件数:返却漏れ23件、誤仕分け21件	A	○改善に取り組んでいる様子がわかる。新たな課題への対応が、今後望まれる
		業務の効率化に伴い発生する人的資源を読書の案内や課題解決の支援など新たな業務体制に振り分けます。	武蔵野プレイス開館以降続く市立図書館利用者の増大、また予約件数の増大のため新たな業務体制への振り分けは出来ませんでした。	C	○利用者増大や予約件数増大を視野に入れた取り組み目標の設定が必要。 ○開館後の状況に合わせた業務の変更はやむを得ない。優先順位を下げるだけではなく、どの段階から新しい業務体制が組めそうかという新たな設定が必要ではないか。

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
<b>2 安心して利用できる図書館環境の構築</b>					
1 利用者の安全性を高める施設の充実	利用者が快適で安心して図書館を利用できる環境を構築します。 (数値目標:利用者アンケートを実施→安心感 ある75%以上)	平成26年度末までに、巡回警備、夜間警備等、警備体制の強化を図ることを目標に、今年度は具体的方法についての検討を行います。【平成24年度中間報告予定】	24年度で終了となる緊急雇用事業を活用してのブレイス全館巡回警備を25年度以降も継続できるよう、予算の獲得を目指し、事業が承認されました。これに伴い図書館3館巡回警備を中央、吉祥寺の2館に変更し、25年度からの2館における巡回警備時間を延ばし、警備の強化を図ることとしました。	A	○予算化が承認されて、警備が強化ができたことが評価できる。
2 個人情報とプライバシーの保護	利用者の個人情報及びプライバシーを保護します。	個人情報とプライバシー保護に関する研修を職員に対して継続的に実施します。(全職員に対する定期研修:年1回、新規配属職員:随時)	図書館新規配属時に情報セキュリティ研修を実施するとともに全職員向け定期研修(中央:7月、吉祥寺:1月、ブレイス2月)を実施、意識向上に寄与しました。	A	○配属時研修と定期研修が実施されて評価できる。新たな事例を取り入れた継続的な実施が今後も望まれる。
3 危機管理体制の構築	図書館の危機管理体制を定期的に見直しながら、より強固なものへ構築していきます。 (数値目標:毎年1回の見直しの実施)	職員に対する危機管理研修、実際のリスク発生を想定した訓練を継続的に実施します。【年1回】	各館において、防災訓練を実施しました。  中央:2月…地震発災対応の避難訓練 参加者43名 吉祥寺:3月…館内設備の確認、避難経路等を中心に確認 参加者14名 ブレイス:10月…全館で防災訓練を実施 参加者39名	A	
		安全対策マニュアルを更新します。	平成25年3月に改定された武蔵野市防災計画を受けて図書館の安全対策マニュアルを作成中です。	B	

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価(ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
<b>図書館運営に関する項目</b>					
<b>3 質の高いサービスを支える体制整備</b>					
1 職員の人材育成	質の高いサービスを提供する基盤として、図書館運営を担う人材育成を図ります。 (数値目標: 毎年一人3回以上の研修参加)	<p>「武蔵野市立図書館人材育成計画」に基づき、内部研修を実施(職員向け6回、嘱託職員向け4回)し、職員を外部研修に派遣します。</p> <p>&lt;参考指標&gt; ○研修参加職員数(延べ人数) 平成23年度実績 754人 研修参加回数: 職員(36人) 2~25回 嘱託(65人) 1~13回 ※緊急雇用嘱託職員2人を含む</p> <p>一人当たり平均参加回数: 職員 6.97回 嘱託 5.0回</p>	<p>内部研修については、新任研修、レファレンス研修等を実施し、外部研修については児童、障害者サービス等の専門業務研修やレファレンス研修等へ職員を派遣しました。</p> <p>&lt;参考指標&gt; ○内部研修: 中央14、吉4、プ10回 ○研修参加職員数(延べ人数) 平成24年度実績 762人 研修参加回数: 職員(32人) 3~25回 嘱託(68人) 1~14回 ※緊急雇用嘱託職員2人を含む</p> <p>一人当たり平均参加回数: 職員 9.71回 嘱託 7.23回</p>	A	
		<p>「研修個人シート」を作成し、各職員の研修参加状況の把握と意識の向上に努めます。</p> <p>&lt;参考指標&gt; ○平成23年度職員の内部研修評価(回答数488) A評価 424(86.8%) B評価 56(11.4%) C評価 8(1.6%)</p>	<p>研修個人シートを作成し、各職員の研修参加状況等の把握に努めました。また各職員による研修評価及び研修に対する意見について、24年度の内部研修科目へ反映させるとともに、希望する外部研修への職員派遣の参考としました。</p> <p>&lt;参考指標&gt; ○平成24年度職員の内部研修評価(回答数1,030) A評価 831(80.7%) B評価 175(17.0%) C評価 24(2.3%)</p>	A	

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 施設の管理・運営 形態	図書館として最も望ましい管理・運営形態を目指し、利用者への利便性をさらに向上させます。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利便性への評価 良い75%以上)	中央図書館・吉祥寺図書館の土・日・祝日の開館時間の延長についての検討をすすめ、報告にまとめます。 (平成24年まで2か年間の取組)	図書館内部での検討を進め、報告書を作成しました。	A	
		中央図書館・吉祥寺図書館の望ましい運営形態の研究を進め、報告にまとめます。 (平成24年まで2か年間の取組)	図書館内部での検討を進め、報告書を作成しました。	A	
3 評価システムの構築	図書館が提供するサービスについて、見直しと向上を図る評価システムを構築、運用し、評価を実施していきます。 (数値目標:年1回評価システムによる評価及び市民への公表実施)	一部の評価者にゆだねるのではなく、図書館職員すべてが評価及び運用に関わることができるような仕組みを作ります。 (平成24年まで2か年間の取組)	図書館内で行っている事業進捗評価について各職員が担当業務に沿って進捗管理を行い、25年度から図書館職員全員で評価を実施することとしました。	A	

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価(ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
<b>図書館サービスに関する項目</b>					
<b>4 地域の情報拠点としての情報の蓄積</b>					
1 多様な情報資料の蓄積	市民や利用者の多様なニーズに対応するために、多様な情報資料を蓄積し、各図書館での蔵書の充実を図ります。 (数値目標: 毎年1回以上の資料収集方針の点検)	一般図書、逐次刊行物、視聴覚資料、郷土行政資料等の継続的な収集と整備を進めます。  <参考指標> ○23年度受入資料数 中央: 図書 19,792冊、CD 318点、DVD 267点 吉祥寺: 図書 8,457冊、CD 77点 プレイス: 図書 12,146冊  ○23年度資料の貸出回転率(1年間貸出回数/蔵書点数) 図書: 2.44 AV: 7.70	図書、視聴覚資料等計画的に購入、買替を進めました。  <参考指標> ○24年度受入資料数 中央: 図書 21,422冊、CD 258点、DVD 293点 吉祥寺: 図書 8,148冊、CD 103点 プレイス: 図書 9,817冊  ○24年度資料の貸出回転率(1年間貸出回数/蔵書点数) 図書: 2.61 AV: 7.77	A	

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価(ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
1 多様な情報資料の蓄積	市民や利用者の多様なニーズに対応するために、多様な情報資料を蓄積し、各図書館での蔵書の充実を図ります。 (数値目標: 毎年1回以上の資料収集方針の点検)	<p>インターネットデータベースの種類を、利用者ニーズの把握を、利用者アンケートや他市調査等を基に増やし、積極的な広報や、利用者講座の実施などを通し、利用の促進を図ります。 講座実施: 年2回以上 対象: 利用者全般</p> <p>&lt;参考指標&gt; ○契約オンラインデータベース 23年度実績 7種類 ○インターネットパソコン利用人数 23年度実績 12,917人(全館)</p>	<p>プレイスのデータベースの利用状況を検証して、一部データベースのアクセス数を減らし、新規データベースを導入しました。中央、プレイスに「毎日Newsパック」を導入し、全館で、音楽配信データベース「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」の提供を開始しました。 新規データベースについては、HP、市報、むさしのFM等で広報を行いました。利用者講座については実施することはできませんでした。</p> <p>&lt;参考指標&gt; ○契約オンラインデータベース 24年度実績 9種類 ○インターネットパソコン利用人数 24年度実績 20,393人(全館) ○ナクソス利用実績 2,012人(全館)</p>	B	
		<p>図書館における電子書籍の導入について研究し、中間まとめを作成します。</p>	<p>電子書籍をテーマとした講演会等に参加し(4箇所)、図書館導入事例などから、現状や有効性、課題を確認し、参加記録をまとめました。</p>		

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価(ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 市民や地域の蔵書の有効活用と資料のリサイクル	市民の蔵書や図書館の除籍資料等について、有効活用を図ります。 (数値目標:前年比100%以上のリサイクル資料の提供)	図書館におけるリサイクル事業を、継続して行います。  <参考指標> ○児童書リサイクル数 23年度実績 1,640冊(3館合計) ○リサイクルコーナー 23年度実績 17,486冊(3館合計)	各図書館のブックリサイクルコーナーでリサイクル資料を提供しました。  <参考指標> ○児童書リサイクル数 24年度実績 2,074冊(3館合計) ○リサイクルコーナー 24年度実績 20,261冊(3館合計)	A	
		図書交流センター事業のPRを進めるとともに、センターを活用した資料のリサイクルを進めます。  <参考指標> ○専門図書館等への資料提供冊数 23年度実績 2,025冊 ○ブックリサイクル 23年度実績 3,879冊	前年度に引き続き、武蔵野プレイスを会場としたブックリサイクルを実施するとともに、センターが仲介となって約6,000冊にのぼる研究者蔵書を活用先に(大学図書館)提供しました。  <参考指標> ○専門図書館等への資料提供冊数 24年度実績 3,095冊 ○ブックリサイクル 24年度実績 2,942冊	A	○武蔵野プレイスでの取り組みが評価できる。



## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価(ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
<b>図書館サービスに関する項目</b>					
<b>5 市民や関係機関と連携したサービスの充実</b>					
1 市民との協働	武蔵野市立図書館だけではまかないきれないサービスや情報を市民ボランティアや市民団体との連携により、幅広い利用者に提供していきます。 (数値目標:協働連携団体または事例を3点)	幅広い図書館業務において市民ボランティアとの協働の可能性について研究し、中間まとめを作成します。	中間まとめにはいたりませんが、引き続き宅配ボランティアを中心に協働の可能性について研究するため、宅配サービスについての調査報告をまとめました。	B	○宅配サービスの実現が進むように、検討を進められたい。
他の図書館施設 2 設、行政部局との連携・協力	武蔵野市立図書館だけではまかないきれないサービスや情報を他の図書館等関係機関との連携により、幅広い利用者に提供していくとともに、図書館の情報を行政部局や市議会で活用できるよう体制整備を進めます。	中央図書館で「課題解決支援テーマ展示」を24年度は10回実施し、庁内、関係機関に協力を求め、有効な情報、資料を収集します。 協力課:9課 :環境政策課(3)、緑化環境センター、健康課(2)、交流事業課、生活経済課(2)、子ども家庭課、市民協働推進課、防災課、生涯学習スポーツ課、武蔵野市体育協会 ※市役所組織1室9部49課	課題解決テーマ展示を10回実施し、展示に際しては、図書館資料だけでなく、庁内、関係機関から関連資料を取り寄せて、展示、配付を行い、幅広い情報提供に努めました。 協力課:5課 :クリーンセンター、交流事業課、生活経済課、児童青少年課、高齢者支援課 ※市役所組織11部49課 協力関係機関:4団体、機関 :クリーンむさしのを推進する会、東京しごとセンター多摩、朝日新聞社、東京都健康安全研究センター	A	

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価(ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
他の図書館施設、行政部局との連携・協力	武蔵野市立図書館だけではまかないきれないサービスや情報を他の図書館等関係機関との連携により、幅広い利用者に提供していくとともに、図書館の情報を行政部局や市議会で活用できるよう体制整備を進めます。	課題解決テーマ展示の資料リストや市政に関する雑誌記事等に関係各課に送付し、各課が、図書館資料や提供情報を業務に活用できるように努めます。  <参考指標> ○中央課題解決テーマ展示 協力課:9課 協力関係機関:1団体、機関	協力課、関係機関にテーマ展示資料リストを送付しました。武蔵野プレイスでは、同館生涯学習機能、市民活動支援機能、青少年支援機能の主催講座に関連した図書の展示を実施したほか、青少年支援機能と協力して、青少年フロアでの図書展示や講座を開催しました。  <参考指標> ○中央課題解決テーマ展示 協力課:5課 協力関係機関:4団体、機関 ○プレイス プレイス講座関連図書展示 18回 青少年フロア図書展示 1回 協同企画講座 1回	A	

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価(ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
3 その他の機関との連携協力	市内の民間事業者や文化施設との連携を進め、地域振興の推進や地域文化の創造・発展を図ります。(数値目標:連携・創造の取り組みを年3回以上実施)	各事業者、団体等の活動について情報収集に努め、資料展示に反映させます。	中央のトピックス展示では、市内文化施設の開催事業と連携した企画を実施しました。これまでも実施してきた吉祥寺美術館に加えて、新たに市民文化会館との協力により、展覧会やオルガンコンクールに関連したミニ展示を2回行いました。	A	
4 学校との連携協力	学校図書館の支援機能を強化しながら、図書資料を活用した学習を広く支援するとともに、そのための体制づくりに取り組みます。	昨年に引き続き、学校連携用図書の選書会議を年1回開催し、学校連携用の資料の貸出テーマ別リストを作成します。  <参考指標> ○市立小中学校年間貸出延べ学校数 23年度実績 117校 ○貸出資料冊数 23年度実績 3,657冊	学校連携用図書の選書会議を8月に開催し、利活用の高い資料の収集に努めました。また業務用として、貸出テーマ別リストデータを作成しました。  <参考指標> ○市立小中学校年間貸出延べ学校数 24年度実績 140校 ○貸出資料冊数 24年度実績 3,828冊	A	○利活用が進み、セカンドスクール、プレセカンドはもちろんのこと、国語の関連のある内容の読書でも、活用されるようになっている。テーマ別リストデータが大変便利である。
		平成23年度稼働の学校図書館システムとの連携についても研究し、報告にまとめます。(平成24年まで2か年間の取組)	学校図書館システムとの連携について研究を進めてまいりましたが、報告にまとめるまでいたりませんでした。	B	

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
<b>図書館サービスに関する項目</b>					
<b>6 図書館の活用と情報収集の支援</b>					
1 貸出・閲覧サービスの利便性の向上	自動貸出機や自動返却機の導入、配本サービスの充実、ブックポストの設置など利用者の利便性の向上を図ります。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利便性への評価 良い75%以上)	自動貸出機・返却機・館内OPACなどについて利用者アンケートを実施し、利用者の声を反映し、利便性の向上を図ります。	平成25年2月に来館者アンケートを実施し、調査結果報告書をまとめました。(25年5月中旬市民配布、図書館ホームページで公開)	B	○市民の声を取り入れた改善策を実施されたい。
2 本に親しめる環境の整備	利用者が本に興味を持てる情報の提供やテーマ別配架の実施により、利用者が本に親しめる環境を構築します。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利用者が楽しめる環境良い75%以上)	平成23年度に策定した「子ども読書活動推進計画」に基づいた取り組みとして、ハンディキャップを持つ子どもたちへのサービスを実施します。	ハンディキャップをもつ子どもたちへのサービスとして、5月から月1回のみどりのこども館への出張おはなし会と本の貸出を開始しました。  <参考指標> ○24年度延べ参加人数 72名 ○24年度貸出冊数 157冊	A	
		一般向けトピックス展示を、中央で年5回(期間1~3ヶ月)、プレイスで年6回(期間1~2ヶ月)実施します。  <参考指標> ○一般向け実施回数及び展示冊数 23年度実績 13回 1,833冊	一般向けのほか、生涯学習講座に関する展示も行いました。  <参考指標> ○一般向け実施回数及び展示冊数 24年度実績 中央(4回 656冊、ミニトピックス 3回 131冊) プレイス(7回 1800冊) ○プレイス機能連携 生涯学習講座関連 10回 426冊 青少年活動関連 6回 118冊 市民活動支援講座関連 2回 57冊	A	

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 本に親しめる環境の整備	利用者が本に興味を持てる情報の提供やテーマ別配架の実施により、利用者が本に親しめる環境を構築します。 (数値目標:利用者アンケートを実施→利用者が楽しめる環境良い75%以上)	児童向けテーマ展示を各館年3回以上実施します。  <参考指標> ○児童向け実施回数 23年度実績 7回	クリスマスなどをテーマとした企画展示を各館で実施しました。  <参考指標> ○24年度児童向けテーマ展示実施回数 中央7回、吉祥寺6回、プレイス6回	A	
		児童・ヤングアダルト資料を継続的に収集・整備します。	児童・ヤングアダルト資料を継続的に収集・整備しました。 児童書については、良書の買替に力を入れました。 児童書買替冊数 599冊	A	
		中央、プレイスで、ヤングアダルトに関する企画展示を実施します。 (目標値:各館年1回以上)	中央・プレイスにおいて、企画展示を実施しました。  <参考指標> ○ヤングアダルト向け企画展示回数 中央1回、プレイス1回	A	

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
3 市民活動支援機能の充実	様々な活動を行っている市民団体等と連携しながら、活動に有益な情報の提供や、活動記録の蓄積を進めます。	<p>図書館関係団体や地域の文庫活動に対して、支援を行っています。 [継続事業]</p> <p>&lt;参考指標&gt; ○23年度登録団体数 24団体 ○貸出対象団体への貸出冊数 23年度実績 8,047冊 ○団体との共催講演会 23年度実績 実施回数 2回 参加人数 74人</p>	<p>地域の文庫や学童保育所への図書の貸出を継続的に実施し、また文庫連絡会との共催で講演会を年2回実施しました。 春の講演会「絵本、より道うら話」 秋の講座「紙芝居を楽しもう！」</p> <p>&lt;参考指標&gt; ○24年度登録団体数 23団体 ○貸出対象団体への貸出冊数 24年度実績 9,694冊 ○団体との共催講演会 24年度実績 実施回数 2回 参加人数 82人</p>	A	

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
<b>図書館サービスに関する項目</b>					
<b>7 市民の学びと課題解決の支援</b>					
1 レファレンス・サービスの充実	利用者が必要とする情報・資料を容易に探索できるよう、本の案内やレファレンスサービスを充実していきます。 (数値目標:利用者アンケートを実施→レファレンスサービスへの評価 良い75%以上)	レファレンス力向上のため、レファレンス研修を継続実施します。 (目標値:年3回)  <参考指標> ○研修参加実績 内部研修 260人 外部研修 14人 ○レファレンス件数 23年度実績 44,609件(3館合計)	レファレンス研修を実施し、外部研修に職員を派遣しました。24年度は、中央で、新たに外部講師(国立国会図書館、データベース会社)によるインターネットを使ったレファレンス研修を3回実施しました。  <参考指標> ○内部研修:中央7回、吉祥寺2回、プレイス5回 3館合計参加人数 323人 外部研修:5回 3館合計参加人数 52人 ○レファレンス件数 24年度実績 54,535件(3館合計)	A	
		レファレンス事例のシステム入力を進め、全館で共有します。  <参考指標> ○23年度件数 120件	レファレンス事例のシステム入力を行い、全館で共有しました。  <参考指標> ○24年度件数 235件	A	
		郷土レファレンス情報資料を作成して、全館カウンターで利用する等の情報の共有化を図り、レファレンス対応力の向上に努めます	職員用中央図書館所蔵地図リストを更新しました。また、パスファインダー「おしえてむさしのー武蔵野市についての調べ方案内」第1～3号を作成し、今後、郷土レファレンス情報資料としても活用する予定です。	A	○パスファインダーの作成と公開が実現し、評価できる。

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 学びを支える情報の収集、提供、発信	利用者の多様な学びを支援するため、利用者が必要とする情報の収集、提供、発信を積極的に行います。 (数値目標：調べ方案内(パスファインダー)の発行数 年3回以上)	武蔵野市に関する新聞記事見出しデータベースの更新に努めます。  <参考指標> ○新聞記事データ件数 23年度実績 7,959件	平成25年1月に新たに388件の記事見出しを追加しました。  <参考指標> ○新聞記事データ件数 24年度実績 8,347件	A	
		引き続き契約データベース等による幅広い情報提供を行います。  <参考指標> ○契約オンラインデータベース 23年度実績 7種類 ○インターネットパソコン利用人数 23年度実績 12,917人(全館)	プレイスのデータベースの利用状況を検証して、一部データベースのアクセス数を減らし、新規データベースを導入しました。中央、プレイスに「毎日Newsパック」を導入し、全館で、音楽配信データベース「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」の提供を開始しました。 新規データベースについては、HP、市報、むさしのFM等で広報を行いました。  <参考指標> ○契約オンラインデータベース 24年度実績 9種類 ○インターネットパソコン利用人数 24年度実績 20,393人(全館) ○ナクソス利用実績 2,012人(全館)	A	
		武蔵野市に関する情報、資料の探し方をテーマとしたA41枚裏表程度のパスファインダーを紙媒体で発行するとともに、HP上でも公開します。	パスファインダー「おしえてむさしの—武蔵野市についての調べ方案内」第1～3号を作成しました。(※紙媒体の配布、HP公開は平成25年5月)	A	



## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価(ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
3 課題解決の支援	利用者の抱える課題に応じた情報を収集し提供するほか、これらの情報を効率的に利用できるよう、図書館資料の検索性を向上させます。また、利用者を対象としたデータベース検索講座等を実施し、利用者の情報リテラシー能力向上を図ります。 (数値目標:①課題解決テーマ展示 年10回以上実施 ②利用者対象情報検索講座年2回以上実施)	昨年度より引き続き、1ヶ月期間の「課題解決支援テーマ展示」を10回実施します。	課題解決テーマ展示を10回実施しました。“情報とモノの整理”、“新生活スタート”など月ごとにテーマを替え、553冊の図書を展示しました。	A	
		利用者を対象としたデータベース検索講座等を2回以上実施します。	職員対象の研修を実施し、関連情報を収集しましたが、利用者対象のデータベース検索講座については、実施することができませんでした。	C	

平成24年度 武蔵野市の図書館評価

<評価について>

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
<b>図書館サービスに関する項目</b>					
<b>8 利用対象者別の図書館サービスの充実</b>					
1 一般利用者向けサービスの充実	資料・情報の必要な方が、必要なときに手にすることができるよう資料の充実やレファレンスサービスの充実を図るとともに、身近な公共施設での貸出・返却サービスや図書館開館時間の延長なども検討していきます。	「課題解決支援テーマ展示」の実施に伴い、庁内、関係機関に協力を求め、有効な情報、資料を収集します。	課題解決テーマ展示を10回実施し、展示に際しては、図書館資料だけでなく、庁内、関係機関から関連資料を取り寄せて、展示、配付を行い、幅広い情報提供に努めました。	A	
		レファレンス力向上のため、レファレンス研修を継続実施します。 (目標値：年3回)  <参考指標> ○研修参加実績 内部研修 260人 外部研修 14人 ○レファレンス件数 23年度実績 44,609件(3館合計)	レファレンス研修を実施し、外部研修に職員を派遣しました。24年度は、中央で、新たに外部講師(国立国会図書館、データベース会社)によるインターネットを使ったレファレンス研修を3回実施しました。  <参考指標> ○内部研修：中央7回、吉祥寺2回、プレイス5回 3館合計参加人数 323人 外部研修：5回 3館合計参加人数 52人 ○レファレンス件数 24年度実績 54,535件(3館合計)		

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
1 一般利用者向けサービスの充実	資料・情報の必要な方が、必要なときに手にすることができるよう資料の充実やレファレンス・サービスの充実を図るとともに、身近な公共施設での貸出・返却サービスや図書館開館時間の延長なども検討していきます。	レファレンス事例のシステム入力を進め、全館で共有します。  <参考指標> ○23年度件数 120件	レファレンス事例のシステム入力を行い、全館で共有しました。  <参考指標> ○24年度件数 235件	A	
		郷土レファレンス情報資料を作成して、全館カウンターで利用する等の情報の共有化を図り、レファレンス対応力の向上に努めます	職員用中央図書館所蔵地図リストを更新しました。また、パスファインダー「おしえてむさしのー武蔵野市についての調べ案内」第1～3号を作成し、今後、郷土レファレンス情報資料としても活用する予定です。	A	
		自動貸出機・返却機・館内OPACなどについて利用者アンケートを実施し、利用者の声を反映し、利便性の向上を図ります。	平成25年2月に来館者アンケートを実施し、調査結果報告書をまとめました。アンケートでは「使いにくい」等のご意見もいただいたので、今後、改善に向けて努力していきます。	B	
		中央図書館・吉祥寺図書館の土・日・祝日の開館時間の延長についての検討をすすめるほか、2館の望ましい運営形態の研究を進め、報告にまとめます。(平成24年まで2か年間の取組)	図書館内部での検討を進め、報告書を作成しました。	A	

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
2 児童サービスの充実	子どもの読書習慣を定着させる事業やサービスの拡充を図ります。 (数値目標:小中学生の1か月の平均読書数を、平成22年度比10%増)	ブックスタート事業の継続実施及び乳幼児向けのおはなし会や幼児小学生向けおはなし会、保護者向けの講演会、こどもまつり、読書の動機づけ指導、子ども文芸賞等の子どもの読書習慣の定着を図る事業を実施します。	ブックスタート事業の継続実施及び乳幼児向けのおはなし会や幼児小学生向けおはなし会、保護者向けの講演会、こどもまつり、読書の動機づけ指導、子ども文芸賞等の子どもの読書習慣の定着を図る事業を実施しました。	A	
		<参考指標> ○子ども文芸賞応募件数 23年度実績 2,401件 ○子ども向け行事の総参加者数及び事業数 23年度実績 5,299件(6事業)	<参考指標> ○子ども文芸賞応募件数 24年度実績 2,556件 ○子ども向け行事の総参加者数及び事業数 24年度実績 6,206件(7事業)		
		ハンディキャップを持つ子どもへのサービスを、市関連施設において試行します。	みどりのこども館への出張おはなし会と図書の出借を開始しました。	A	
3 ヤングアダルト向けサービスの充実	中学生・高校生を対象とした学習スペースの提供、図書館資料を活用した多様な活動の支援や情報発信の場の提供などを実施します。 (数値目標:青少年利用者の図書館満足度 良い75%以上)	3館で連携しヤングアダルトに関する企画展示を年1回以上実施します。	中央・プレイスにおいて、企画展示を実施しました。	A	
		武蔵野プレイスの青少年活動支援機能との連携を図ります。 (平成24年まで2か年間の取組)	プレイスにおけるYA向け企画展示において青少年活動支援機能の協力を得て実施しました。		

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

## &lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会評価(ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
4 シニア利用者に対するサービス	シニア世代を対象とした趣味や健康に関する情報提供や図書館資料を活用した学びの支援、また市民ボランティアとして図書館運営に参画してもらいます。(数値目標:シニア利用者の図書館満足度 良い75%以上)	図書館資料を活用したシニア世代の生涯学習支援について検討し、報告にまとめます。(平成24年まで2か年間の取組)	シニア世代の生涯学習支援についてプレイスとの連携、老壮大学とのアプローチを進める検討、またシニア限定ではありませんが、地域自由大学内で図書に関係する事項を連携できないか研究しましたが、24年度は具体的な取り組みがありませんでした。	B	
		シニア世代が利用しやすい大活字本の充実を図ります。  <参考指標> ○蔵書数:2,533冊(23年度末) ○購入数:198冊(23年度)	シニア世代が利用しやすい大活字本の充実を図りました。  <参考指標> ○蔵書数:2,919冊(24年度末) ○購入数:115冊(24年度)	A	○シニア世代が増えているので、今後も充実させていきたい。
5 来館、利用困難者に対する利便性向上	障害がある、日本語を母国語としない等により来館が困難、利用が困難な方に対するサービス体制を強化、拡充します。(数値目標:障害者用資料の利用率 平成22年度比 120%)	視覚障害による活字図書の利用困難者に対し、音訳図書の貸出や対面朗読サービス等を引き続き実施します。[継続事業]  <参考指標> ○録音図書(テープ)提供数(提供総数) 23年度実績 235本 ○録音図書(CD)提供数(提供総数) 23年度実績 239枚 ○図書郵送貸出サービス 23年度実績 延べ44人 48冊	視覚障害による活字図書の利用困難者に対し、音訳図書の貸出や対面朗読サービス等を引き続き実施しました。[継続事業]  <参考指標> ○録音図書(テープ)提供数(提供総数) 24年度実績 165本 ○録音図書(CD)提供数(提供総数) 24年度実績 478枚 ○図書郵送貸出サービス 24年度実績 延べ33人 35冊	A	○録音図書(CD)の提供数が増加しているのが、評価できる。

## 平成24年度 武蔵野市の図書館評価

&lt;評価について&gt;

A 計画通り実施し一定の成果があった

B 概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った

C 不十分な点や課題が多く、計画通りにはいかなかった

評価対象施策	平成26年までの取組目標	平成24年度		図書館運営委員会 評価 (ABC)	図書館運営委員会のコメント
		取組目標	取組結果		
5 来館、利用困難者に対する利便性向上	障害がある、日本語を母国語としない等により来館が困難、利用が困難な方に対するサービス体制を強化、拡充します。 (数値目標:障害者用資料の利用率 平成22年度比 120%)	様々な理由で図書館利用が困難な方に対するサービスについて、対象者・内容の見直しとともに検討を進め、報告にまとめます。 (平成24年まで2か年間の取組)	他市区のHPからと、近隣市区への聞き取りにより、宅配サービスの現状の把握に努めました。25年度に実施予定の調査の参考とします。	B	○具体的な取り組みが開始されたことが評価できる。
		視覚障害者向け資料提供の電算システムを導入し、平成24年9月稼動を目指します。	障害者用録音図書データを図書館電算システムへ取り込み、資料管理及び貸出返却業務の効率化を進めました。平成25年3月には図書館ホームページでの録音図書目録の公開、予約受付サービスを開始しました。	A	